

事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織の専攻
の設置

九州大学大学院薬学府創薬科学専攻

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

総務部法令審議室法規係

カカリチョウ ニシムラ マサル
係長 西村 大

電話番号 092-642-2108
(夜間) 092-642-2108
F A X 092-642-2113
e-mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

医系学部等総務課

キカク コウボウ スエ ツグ ヨシ フミ
企画・広報係長 末次良文
電話番号 092-642-6240
(夜間) 092-642-6240
F A X 092-642-6239
e-mail ijskikak@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、
その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	7
4	教員組織の状況	9
5	その他全般的事項	10

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人九州大学

(2) 大学名

九州大学

(3) 大学の位置

〒812-8582

福岡県福岡市東区馬出4丁目1番1号

(〒812-8581

福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学府 創薬科学専攻(修士課程) 修士(創薬科学)	年 2	人 55	人 110	基礎となる学部名等 薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平均入学定員 超過率	備 考
	平成22年度		
A 入学定員	(-) 55	1.09	
志願者数	(-) 69		
受験者数	(-) 69		
合格者数	(-) 61		
B 入学者数	(-) 60		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.09		

- (注) ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	備 考
	平成22年度	
1年次	[4] 60	
2年次	[]	
3年次	[]	
計	[4] 60	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [-] 0	計 [4] 60	[0 %] 0 %
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 60人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
 - ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他

2 授業科目の概要
 <薬学府 創薬科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端研究 実験	先端研究実験Ⅰ	1通	8			13 16	13 15			4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	先端研究実験Ⅱ	2通	8			13 16	13 15			4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
先端研究 演習	医薬化学演習Ⅰ	1前		1		5	3 4			1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	生物薬学演習Ⅰ	1前		1		4	3					
	物理薬学演習Ⅰ	1前		1		3	3			2		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	医療薬学演習Ⅰ	1前		1		4	6 7			1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	医薬化学演習Ⅱ	2前		1		5	3 4			1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	生物薬学演習Ⅱ	2前		1		4	3					
	物理薬学演習Ⅱ	2前		1		3	3			2		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	医療薬学演習Ⅱ	2前		1		4	6 7			1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
大学院 薬学総論	薬学総論Ⅰ(創薬学と育薬学)	1前		2								
	薬学総論Ⅱ(知的財産など)	1後		2								
	薬学総論Ⅲ(創薬コロキウム)	1後		2		1						
先端研究 英語 講義	医薬化学研究	1後		1		5	3					
	生物薬学研究	1後		1		4	3					
	物理薬学研究	1後		1		3	3					教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	医療薬学研究	1後		1		4	3					
先端研究 基礎 講義	薬理・基礎理論	1後		2		2	1 2					教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	薬理・疾患治療	2後		2		2	1					
	薬剤・動態学	1前		1		2	1 2			1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	薬物送達システム学	2前		1		1	1					
	物理化学的測定法	1前		2		3	3 4					教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	分子プローブの設計と機器開発	2前		2		3	3 4					教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
	タンパク質創薬論	1後		1		1	1					
	細胞複製システム論	1前		1		1						
	細胞内タンパク質輸送システム論	1後		1		1	1					
	内外環境物質応答論	1後		1		1	1					
	大学院有機化学	1前		2		3	2					
	最先端創薬研究論	2前		1		3	2					
	天然資源学	1前		1		1	1					
	天然物化学	1後		1		1	4			1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる 教員の配置とした(22)
がんの分子腫瘍学と創薬	1前		1									

薬学研究教育実習	研究・技術実習	生物薬学研究技術実習	1前		1		4	3					
		構造解析技術実習	1前		1		5	4					
		インターンシップ実習	1・2通		1		1	1					
		科学論文発表	1・2通		1		1	1					
		英語科学討論	1・2通		1			1					
	連携大学院合宿研修	1前		1		1	1						
	教育指導実習	有機化学系教育指導実習	1前		1		5	4					教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
		物理薬学系教育指導実習	1前		1		3	3					
		生物薬学系教育指導実習	1後		1		4	2					
		医療薬学系教育指導実習	1後		1		4	4					
						4	5			1			

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください
 ・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒変更されているものは赤字で見え消し修正いただき, 「備考」に赤字で記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 40	科目 0	科目 42	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

- (注) ・未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記別課程としている授業科目については算入する必要はありません。) とともからの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部 人文学科	4	160		640	学士（文学） 学士（学術）	1.03	平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
教育学部	4	50		200	学士（教育学） 学士（学術）	1.08	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
法学部	4	200		800	学士（法学） 学士（学術）	1.02	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
経済学部 経済・経営学科	4	150	3年次 10	620	学士（経済学） 学士（学術）	1.06	平成12年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号	
経済工学科	4	90	3年次 10	380		1.10	昭和52年度		
理学部 物理学科	4	59		236	学士（理学）	1.11	昭和24年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目	
化学科	4	67		268	学士（学術）	1.05	〃	10番1号	
地球惑星科学科	4	48		192		1.04	平成2年度		
数学科	4	54	3年次 5	226		1.07	昭和24年度		
生物学科	4	49		196		1.11	〃		
医学部 医学科	6	110		615	学士（医学） 学士（生命科学）	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目	
生命科学科	4	12		36	学士（看護学）	1.22	平成19年度	1番1号	
保健学科	4	137		548	学士（保健学） 学士（学術）	1.05	平成14年度 (平成15年4 月学生受入)		
歯学部 歯学科	6	55	3年次 5	350	学士（歯学）	1.04	昭和42年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
薬学部 創薬科学科	4	50		200	学士（創薬科学）	1.08	平成18年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目	
臨床薬学科	6	30		150	学士（薬学） 学士（学術）	1.05	〃	1番1号	
工学部 建築学科	4	60		240	学士（工学）	1.06	昭和29年度	福岡県福岡市 西区元岡	
電気情報工学科	4	158		632	学士（学術）	1.06	平成8年度	744番地	
物質科学工学科	4	168		672		1.08	平成9年度		
地球環境工学科	4	150		600		1.03	平成10年度		

エネルギー科学科	4	99		396		1.05	〃		
機械航空工学科	4	169		676		1.07	平成11年度		
芸術工学部							平成15年度	福岡県福岡市	
環境設計学科	4	38		152	学士(芸術工学)	1.07		南区塩原4丁目	H16.4
工業設計学科	4	48		192)	1.04		9番1号	学生受入
画像設計学科	4	38		152	学士(学術)	1.05			
音響設計学科	4	38		152		1.07			
芸術情報設計学科	4	40		160		1.04			
農学部					学士(農学)		平成10年度	福岡県福岡市東区	
生物資源環境学科	4	229		916	学士(学術)	1.05		箱崎6丁目10番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<薬学府 創薬科学専攻（修士課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
28	5	33	0	26	6	32	0	
(26)	(6)	(32)	0	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<薬学府 創薬科学専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成 年 月 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/office/somu-bun/hourei/establish.htm>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。